

赤堤二丁目町会

事業名

防災訓練、防犯パトロールを通じた 多文化共生社会への理解促進事業

事業概要

- 7月を町会の多文化共生月間と位置づけ、イベント周知チラシにやさしい日本語と英語を表記。外国人にも参加を呼び掛けた。
- 防災訓練に参加した住民に「やさしい日本語」について説明を行うなど、多文化共生に向けた取組について理解を深めた。

実施期間 令和5年6月10日～8月12日
 参加人数 見守りパトロール20名、防災訓練150名
 事業総額 50万500円
 (地域の底力発展事業助成金 20万円)

主な経費(助成対象)
 ● 物品購入費 ユニフォーム(ビブス)
 ● 印刷経費 回覧チラシ、掲示板チラシ

役割分担

《チラシ制作(2名)》町会役員が原案を作成。英文・やさしい日本語の表記は、せたがや国際交流センターが協力
 《防災訓練(約10名)》防災防犯部長を中心に町会役員が消防署・消防団への協力依頼、当日の運営を担当

事業の開始から終了までの主な流れ

- 令和5年
- 6月10日 初回打合せ
世田谷区・消防・警察への依頼内容を決定
 - 6月15日 せたがや国際交流センターに参加者募集チラシの英文・やさしい日本語表記の協力を依頼
同センター制作の「やさしい日本語説明チラシ」「外国人ヘルプカード」の提供を依頼(防災訓練参加者配布用)
 - 7月8日 事業当日のスケジュールと役割分担を決定
チラシ、ポスター、回覧板による事業周知を開始
 - 7月27日 見守りパトロールを実施
 - 7月30日 防災訓練を実施
 - 8月12日 反省会



「せたがや国際交流センター」の協力を得て制作した
 チラシ。やさしい日本語と英文を使用

見守りパトロール、防災訓練で 「多文化共生」へ理解を呼び掛け 7月は町会「多文化共生月間」

令和5年7月27日

見守りパトロール

毎月第2、第4木曜日に見守りパトロールを実施。登下校中の子供たちへの声掛けや、人通りの少ない路地の見回りなどを通し、安全安心なまちづくりを目指している。



「AKATSUTSUMI」と英文字表記したユニフォームを着用し、約20名が参加

7月を町会の「多文化共生月間」と位置づけ、イベント周知チラシにやさしい日本語と英文を表記。回覧板や掲示板へ掲示することで、外国人にも防災訓練と見守りパトロールへの参加を呼び掛けた。

令和5年7月30日

防災訓練

毎年7月と12月の2回、防災訓練を実施。今回は消防署、消防団の協力のもと、消火器、スタンドパイプを使った初期消火訓練を実施し、約150人が参加。国際交流センターの協力のもと、参加者にやさしい日本語についてのチラシを配布して説明するとともに、災害・急病など緊急時の対応や日本人に支援を求める際の会話集などを多言語でコンパクトに記載した「外国人ヘルプカード」の配布を行った。



防災訓練の様子

事業による 成果・効果

多文化共生に向けた更なる取組への第一歩に

7月の多文化共生月間に様々な取組を行った赤堤二丁目町会。町会員には国際結婚で暮らす外国人住民がおり、今回の町会の取組について「とても大事な取組」と評価の声が寄せられた。また、町会員にも、町会が多文化共生を進めていることや、やさしい日本語の取組などについて理解を深めてもらうことができた。

やさしい日本語や英語を使ったチラシ制作を通じ、今回初めてせたがや国際交流センターとつながりができた。「今後に向けた協力関係の基盤ができました」と会長の高橋さん。多文化共生に向けた更なる取組への第一歩となった。

事業を振り返って

多文化共生を基本とした町会活動へ

日頃から防犯パトロールや防災訓練に力を入れている赤堤二丁目町会。「災害時などに、外国人住民の方も言葉の壁を越えてすぐに避難できるような取組が必要。今後の町会活動は多文化共生を基本にしたい」と会長の高橋さん。今回、町会役員もその考えに賛同し、多文化共生に取り組んだ。避難所の運営で連携している近隣2町会も、今回の赤堤二丁目町会の取組を知り、多文化共生の活動を推進することにしたという。

「より住みやすい街づくりへ、町の皆さんと議論を深めながら、多文化共生を共通の理解としていきたい」と高橋さんは話す。



「多文化共生を基本にしたい」と会長の高橋さん